

地方創生フォーラム in 山梨

ウィズ／ポストコロナ時代の デュアルモード社会

入場無料
会場定員150名
要申込

新型コロナウイルス感染拡大による新しい生活様式への変化を踏まえ、山梨県では、「超感染症社会」への移行に向けた戦略「やまなしグリーン・ゾーン構想」を推進しており、県全体が「安全・安心・信頼」を獲得することで、大都市圏からの移住や二拠点居住地として選ばれる地域を目指しています。今回は、そうした事例紹介等を交えながら、ウィズ／ポストコロナ時代の地域活性化の展望について考察します。

← ウィズコロナ

令和3年 1/20 水

14:00～17:00 (13:30開場)

山梨県立図書館

山梨県甲府市北口2丁目8番1号

※オンラインからの参加も可能です

ポストコロナ →



パネルディスカッション (敬称略)

「デュアルモード社会の地方創生」

基調講演 (敬称略)

「ニューノーマルに向けた働き方(仮)」

株式会社LIFULL 代表取締役社長

井上 高志

コーディネーター

青木 茂樹 (駒澤大学教授)

パネリスト

堀口 正裕 (株式会社第一プログレス常務取締役)

嵩 和雄 (認定NPO法人ふるさと回帰支援センター副事務局長)

樋口 純子 (身延町宿坊 覺林坊 女将)

辻 麻梨菜 (株式会社トレジャーフット Going・Going・Localマネージャー
兼 地域活性化プランナー)

主催／山梨県、一般財団法人地域活性化センター

後援／総務省、地域づくり団体全国協議会、日本商工会議所、全国商工会議所連合会、朝日新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、山梨県市長会、山梨県町村会、公益財団法人山梨県市町村振興協会、山梨県商工会議所連合会、山梨県商工会連合会、山梨日日新聞社、山梨新報社、NHK甲府放送局、YBS山梨放送、UTYテレビ山梨 (以上予定)

井上 高志 (いのうえ たかし) 株式会社LIFULL 代表取締役社長



1968年神奈川県横浜市生まれ。青山学院大学経済学部卒業。リクルートコスモス(現コスモスイニシア)を経て、「不動産業界の仕組みを変えたい」という信念のもと、97年に株式会社ネクスト(現LIFULL)を設立。インターネットを活用した不動産情報インフラの構築を目指して、不動産・住宅情報サイト「HOME'S(現:LIFULL HOME'S)」を立ち上げ、日本最大級のサイトに育て上げる。現在は、国内外併せて約30社以上のグループ会社、世界63ヶ国にサービス展開している。

プログラム

- 13:30～ 開場・受付
- 14:00～ 開会・挨拶
- 14:10～ 基調講演
「ニューノーマルに向けた働き方(仮)」
井上 高志 氏 (株式会社LIFULL 代表取締役社長)
- 15:20～ パネルディスカッション
「デュアルモード社会の地方創生」
《コーディネーター》
青木 茂樹 氏
《パネリスト》
堀口 正裕 氏
高 和雄 氏
樋口 純子 氏
辻 麻梨菜 氏
ハードキャッスル・エリザベス 氏 (ビデオメッセージ)
- 17:00 閉会

応募要項

■参加申し込み方法

下記の参加申込書をFAXで送信していただくか、当センタホームページ内「地方創生フォーラムin山梨」の申込フォーム又はメールに必要事項(団体・会社名、郵便番号・住所、氏名、電話番号、配慮事項等)をご記入の上、お申し込みください。
※先着順。定員になり次第、締め切らせていただきます。
※申込締め切り：令和3年1月6日(水)

■お問い合わせ・お申し込み先

一般財団法人地域活性化センター 情報・広報グループ
地域づくり情報課
〒103-0027
東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13階
TEL : 03-5202-6138 FAX : 03-5202-0755
E-mail : jcrd-forum@jcrd.jp
URL : https://www.jcrd.jp/seminar/forum/



■会場アクセス

山梨県立図書館 イベントスペース (山梨県甲府市北口2丁目8番1号)
【電車でお越しの方】
JR中央本線および身延線で甲府駅下車、北口のペDESTリアンデッキ(歩行者専用道)を利用して徒歩3分です。ペDESTリアンデッキを下りたところから図書館入り口までの歩道に屋根が設置してあります。
【お車でお越しの方】
中央自動車道[甲府・昭和IC]より国道20号線、昭和通り、平和通りを経由していただき、舞鶴通りの北側です。(5km・15分)
※駐車場(無料)をご利用の方は駐車券を受付までご提示ください。

コーディネーター

青木 茂樹 (あおき しげき) 駒澤大学教授



駒澤大学 経営学部 市場戦略学科教授。1968年千葉県佐倉市生まれ。慶應義塾大学大学院を経て、1997年山梨学院大学に赴任&定住。2008年より駒大へ転任し、片道2時間の通勤生活13年目。持続可能な社会と企業のあり方を模索し、2017年よりサステナブル・ブランド国際会議を誘致し、日本のアカデミック・プロデューサーを務める。また地域での持続可能な社会を目指して「南アルプスロングライド」や「信玄公ロードレース」を企画・実施するNPOやまなしサイクルプロジェクト理事長も兼任。息子達と県内を自転車でロングライドし、産直野菜を買っておつまみをつくるのが目の下の趣味。

パネリスト

堀口 正裕 (ほりぐち まさひろ) 株式会社第一プログレス常務取締役



TOKYO FM「Skyrocket Company スカロケ移住推進部」「デュアルでルルル」ゲストコメンター。国土交通省、農林水産省等での地方創生に関連する各委員を務める他、地域活性化事例に関する講演、テレビ・ラジオ出演多数、全国各自治体の移住施策に関わる。東日本大震災後、豊かな生き方の選択肢を多くの若者に知ってほしいとの思いから、2012年6月「TURNIS」を企画、創刊。地方の魅力は勿論、地方で働く、暮らす、関わり続ける為のヒントを発信している。

高 和雄 (かさみ かずお) 認定NPO法人ふるさと回帰支援センター 副事務局長



1972年新潟県生まれ、2001年東洋大学大学院博士課程在籍のまま熊本県小国町に移住。(公財)阿蘇地域振興デザインセンター、(一財)学びやの里にて都市農村交流事業、移住支援等に従事。2009年に東京にUターンして現職。鳥取大学地域学部非常勤講師、立教大学観光学部兼任講師。近著に『田園回帰の過去・現在・未来』移住者と創る新しい農山村 農文協(共著)2016。『住み継がれる集落をつくる～交流・移住・通いで生き抜く地域』学芸出版社(共著)2017。『イナカをつくる～わくわくを見つけるヒント』コモンズ(単著)2018。

樋口 純子 (ひぐち じゅんこ) 身延町宿坊 覚林坊 女将



美術系大学卒業後、身延山宿坊「覚林坊」に嫁ぎ、寺院・宿坊の運営業務に従事。「やまなしグリーン・ゾーン認証施設」でワーケーションプランを企画。茶懐石、各国料理、精進料理等の経験から、オリジナルの創作湯葉料理を開発し、ゆば料理コンテストではグランプリ、その他食の祭典でも数々の賞を受賞している。また、お客様ファーストを掲げ、日々お客様の声に耳を大切に、「おてらんち」や「桜寺栖」(さくらてらす)など顧客ニーズにあった事業を展開した結果、5年間で欧米系インパウンド客が120倍に増加。現在は、新会社を立ち上げ、身延山の活性化を目指した新規事業を展開中。

辻 麻梨菜 (つじ まりな) 株式会社トレジャーフット Going・Going・Localマネージャー 兼 地域活性化プランナー



1990年、山梨県北杜市白州町生まれ。明治大学国際日本学部卒業。2019年4月から東京・山梨の里帰り二拠点生活を開始。株式会社トレジャーフットにて地場産業特化型の複業人材マッチング事業を立ち上げ、全国の中小企業・自治体向けに課題解決の選択肢として外部人材活用を提案。株式会社はじまり商店街のコミュニケーションツールとして、二拠点・多拠点や山梨PRイベント企画、足立区のリノベーション団体に住みながら賑わい作りを挑戦。白州町では多世代交流を目的とした「ちよい呑み屋」や町の未来を考える「北杜2050・白州2050」、お寺を活用した「みんなのテラコヤ」など、様々な切り口で地域課題と向き合う。2020年春には、「暮らせるデリ」をコンセプトに新しい多拠点生活サービスの拠点をオープン予定。

※ハードキャッスル・エリザベスさん(都市生活を送るリスナーに「ライフシフトのヒント」を山梨からお届けするラジオ番組「デュアルでルルル」)パーソナリティ)からビデオメッセージもいただきます。

地方創生フォーラム in 山梨 参加申込書 FAX : 03-5202-0755

団体・会社名	メールアドレス	※オンラインで参加ご希望の方は視聴用のURLをお送りしますので必ず記載してください。	
住所	参加方法	TEL	
	会場 <input checked="" type="radio"/> オンライン <input type="radio"/>	FAX	
参加者氏名(ふりがな)	所属部署・役職	その他事項 手話通訳、要約筆記、車椅子の使用等配慮が必要な事項をご記入ください。	

※お申込みいただいた方の個人情報は、本フォーラムに関する以外の目的には使用いたしません。 ※記載欄が足りない場合は、この用紙をコピーしてお申し込みください。